

令和 8 年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

和庄中学校区 校番14 学校名 呉市立本通小学校

a 学校教育目標	夢を持ち 自ら学ぶ ~つなげる・つながる~	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 確かな力と社会性を身に付け、地域を愛し、未来を創造しようとする児童生徒の育成 <ビジョン>(将来の学校像) 9年間を通して、夢を持ち自ら学ぶ児童・生徒を育成することにより、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校
----------	--------------------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	現状 ○小中一貫教育の推進により、中学校区の共通経営理念に基づいた研究・教育活動が行われている。 ●基礎学力、活用力の定着に課題があり、個人差・学年差が大きい。 ●目的や場面に応じて自分の考えを表現することが難しい。 (今年度の重点) ①主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の推進。 (思考を働かせ、根拠をもとに表現する授業づくり・・・「対話」と「振り返り」の重視、ICTの効果的な活用) ②防災教育の深化に向けた、地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践。 ③和庄中学校区スピリットに基づく9年間を見通した組織的な生徒指導。 ④健康増進・体力の向上に向けた、家庭連携による基本的な生活習慣の定着。(早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール)
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・粘り強さ
-------------	----------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目) 自己評価

重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	自己評価					
						上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
** * 確かな学力	学力の向上 ①	主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・判断力の育成	・和庄中学校区授業モデルを実践し、考える授業づくりを行う。(発問の工夫、ICT・思考ツールの効果的活用)	・算数単元末テスト60%以上の児童の割合	70%						
				・「全国学力・学習状況調査」において全国平均値との差(上半期)	国語+2.0 算数+2.0						
** 豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成 ①	自分の命は自分で守る児童の育成	・生活科や総合的な学習の時間を中心とした防災教育の充実を図る。	・標準学力調査において平均正答率が60%以上の学年の割合(下半期)	70%						
				・災害時の避難場所や避難の仕方について理解している児童の割合	100%						
** 豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成 ①	粘り強くやり抜く児童の育成	・生活目標を設定し、目標を達成できたか評価の場を設定する。	・教職員の見取り	85%						
				・生活目標を達成できたと答える児童の割合(アンケート)	90%						
* 健やかな体	健康促進・体力の向上 ①	体力・運動能力の向上	・学期に1回キャンペーン期間を実施する。 ・返事・あいさつ・くつそろえ ・「ありがとうの木」	・教職員の見取り	90%						
				・キャンペーンの目標が達成できたと答える児童の割合	75%						
* 健やかな体	健康促進・体力の向上 ①	基本的な生活習慣の確立 ①	・朝の会で行う1分間体操、体育の授業でのサーキットトレーニング、「くれチャレンジマッチスタジアム」の取組を通して、新体力テストの記録を向上させる運動を行い、体力強化を目指す。 ・全学年に外遊びを推奨するために、「教室空っぽDAY」の取組を実施し、体力・身体能力の向上を図る。 ・年に2回「元気つ子週間」を実施し、チェックカードを使用して基本的な生活習慣の確立を図る。 ・生活委員会の児童による表彰や呼びかけを行い、意欲を喚起する。	・新体力テストの種目で学校平均が県平均を上回る種目の割合	75%						
				・夜9時以降はアウトメディアの児童の割合	80%						
働き方改革	教職員の主体性・積極性が発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	・児童の実態や思いに寄り添う指導により、個を大切に支援の充実を図る。 ・外部人材を積極的に活用することで、効果的な教育活動を実施するとともに、教職員の専門性を高める。	・日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合	85%						
いじめ防止	安全・安心な学校風土の醸成	いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりの推進	・いじめ撲滅キャンペーン中に、いじめ防止のための標語やキャラクターの作成、動画の視聴を行う。	・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」に肯定的評価を回答した児童の割合	100%						

[k:評価]
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60